

April 24, 2026

**【前日の為替概況】ユーロドル、3日続落 一時1.1669ドルまで下落 ドル円は4日続伸**

23日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは3日続落。終値は1.1683ドルと前営業日NY終値(1.1705ドル)と比べて0.0022ドル程度のユーロ安水準だった。米長期金利の指標とされる米10年債利回りが4.28%台まで低下すると、ユーロ買い・ドル売りが先行。24時前に一時1.1717ドルと日通し高値を更新した。

ただ、「イランのガリバフ国会議長は米国との戦闘終結に向けた交渉の担当役を辞任する」との報道が伝わると、米・イラン交渉が難航し、戦闘が再開される可能性が意識され、WTI原油先物価格は1バレル=98.39ドル前後まで急伸。ダウ平均は一時620ドル超下落し、為替市場では「有事のドル買い」が優勢となった。「テヘランの一部地域で防空システムが作動した」との一部報道も相場の重しとなり、3時前に一時1.1669ドルと日通し安値を更新した。

その後、イスラエル当局者の話として「イスラエルはイランへの攻撃は一切行っていない」と伝わると、急速に下げ渋ったものの、戻りは限定的だった。

ドル円は4日続伸。終値は159.71円と前営業日NY終値(159.48円)と比べて23銭程度のドル高水準だった。米長期金利の低下などを受けてドル売りが先行すると、一時159.32円付近まで値を下げたものの、アジア時間に付けた日通し安値159.30円が目先サポートとして意識されると買い戻しが優勢に。「イランのガリバフ国会議長が交渉チームから辞任」との報道が伝わると、原油高・株安・ドル高の様相が強まり、2時30分過ぎに一時159.84円と日通し高値を更新した。

イスラエルがイランへの攻撃について否定したと伝わると、急速に伸び悩む場面もあったが、下押しは限定的だった。この日は終日、中東情勢に絡んだ報道に一喜一憂する荒い値動きとなった。

ユーロ円は小幅ながら3日続落。終値は186.59円と前営業日NY終値(186.68円)と比べて9銭程度のユーロ安水準。ドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、NY時間に限れば大きな方向感が出なかった。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、3月コアCPIを見極めた後は和平協議の開催待ちか**

本日の東京外国為替市場のドル円は、3月の全国コア消費者物価指数(CPI)を見極めた後は、本日以降に開催が予定されている米国とイランの第2回和平協議を控えて動きづらい展開が予想される。

ドル円は、「イランのガリバフ国会議長が交渉チームから辞任」との報道を受けて160円に迫りつつあるが、片山財務相が「日本の当局者は米国側と24時間態勢で緊密に連絡を取り合っている。介入に関して我々にフリーハンドがある」と述べていることで、本邦通貨当局によるドル売り・円買い介入の可能性には警戒しておきたい。

8時30分に発表される3月の全国コアCPIは、政府による電気・ガス代補助金の影響で、前年比+1.7%と予想されており、2月の前年比+1.6%に続いて、目標の2%を2カ月連続で下回ることが見込まれている。

また、日銀は先月から、物価動向をよりの確に把握するため、各種の制度変更に起因する「特殊要因」を除いた新たなコア指標の公表を開始しており、注目しておきたい。2月分は、除く生鮮食品と特殊要因が前年比+2.2%、除く生鮮食品・エネルギー・特殊要因が前年比+2.7%と発表されており、インフレ目標の2.0%を上回っていた。

しかし、日本の3月のインフレ率が予想を大幅に上回っていても、先日の信託大会での植田日銀総裁の挨拶文や新聞報道などで来週27-28日の日銀金融政策決定会合では政策金利の据え置きが見込まれており、市場への影響はないと思われる。オーバーナイト・インデックス・スワップ(OIS)市場での利上げ確率は、月初の70%台から本日は5%程度まで低下している。

アメリカとイランの和平協議に関しては、第1回協議(4月11日)が決裂した後は、第2回協議の開催は、停戦期限と同様に何度も先送りされてきているが、とりあえず本日開催される可能性が示唆されていることで、身構えておきたい。イスラエルとレバノンの停戦は、10日間から3週間の延長になったと報じられている。

トランプ米大統領は、和平合意が締結されるまで停戦期限を無期限に延長すると述べており、これまでのような緊張感はない。しかし、ニュースサイト「アクシオス」がアメリカ当局者の話として、「イラン

との停戦延長について、トランプ大統領は3日から5日間との考えで、無期限の延長にはならない」とも報じており、関連ヘッドラインには警戒しておきたい。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

### <国内>

- 08:30 ◎ 3月全国消費者物価指数（CPI、生鮮食品除く、予想：前年同月比1.7%）
- 08:30 ◎ 3月全国CPI（生鮮食料品・エネルギー除く、予想：前年比2.4%）
- 08:50 ◇ 3月企業向けサービス価格指数（予想：前年比3.0%）

### <海外>

- 15:00 ◎ 3月英小売売上高（自動車燃料含む、予想：前月比横ばい／前年比1.1%）
- 15:00 ◎ 3月英小売売上高（自動車燃料除く、予想：前月比横ばい／前年比2.0%）
- 15:45 ◇ 4月仏消費者信頼感指数（予想：88）
- 17:00 ◎ 4月独IFO企業景況感指数（予想：85.7）
- 18:00 ◎ パネッタ伊中銀総裁、講演
- 19:30 ◎ ロシア中銀、政策金利発表（予想：14.50%に引き下げ）
- 21:00 ◇ 3月メキシコ失業率（季節調整前、予想：2.31%）
- 21:30 ◎ 2月カナダ小売売上高（予想：前月比0.9%／自動車を除く前月比0.8%）
- 23:00 ◎ 4月米消費者態度指数（ミシガン大調べ、確報値、予想：48.5）
- 欧州連合（EU）非公式首脳会議（ニコシア、最終日）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

23日 09:38 ウィリス NZ 財務相

「今年のニュージーランド経済は成長路線を続けていく見込み」  
「経済成長は遅れているが、成長軌道を外れてはいない」

23日 21:54 トランプ米大統領

「ホルムズ海峡に機雷を敷設している船は、たとえ小型船であっても(海軍艦艇 159 隻はすべて海底に沈んでいる!)、すべて撃沈するよう命じた」  
「我々の掃海艇は現在、海峡の掃海作業を行っている。その規模を3倍に拡大する」  
「我々はホルムズ海峡を完全に支配している」  
「イランの指導者は誰なのかを見極めるのに苦労している」  
「イランの内紛は強硬派と穏健派のものだ」  
「イランと合意するまで、ホルムズ海峡は嚴重に封鎖」

24日 03:25

「イランとの合意は米国や同盟国、他の諸国にとって適切で有益である場合にのみ行われる」

24日 00:50 イスラエルのカッツ国防相

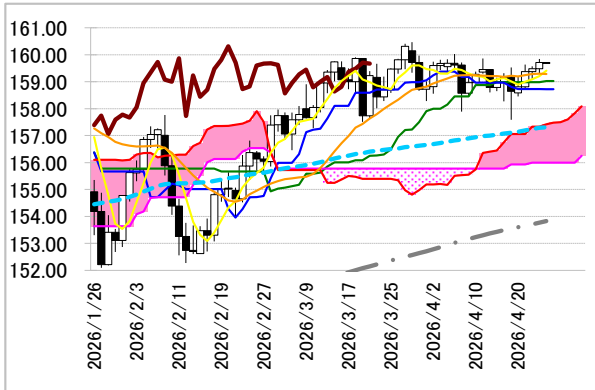
「イスラエルはイランとの戦争を再開する準備ができている」  
「イランとの戦争再開に向け米国の許可を待つ」

24日 02:58 アラグチ・イラン外相

「イラン人はこれまで以上に団結している」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

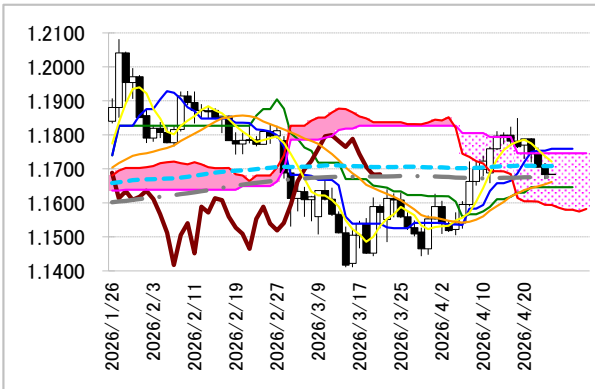


### <ドル円＝年初来高値が視野に>

小陽線引け。21日線で底堅く推移すると、159.84円まで上昇して13日高値159.86円に迫った。

今週に入り、値動きは小さいものの上値を切り上げる動きが続いている。この流れに乗って160円台に乗せると、先月30日に付けた年初来高値160.46円が否応なく意識されると見る。なお、前述の21日線159.29円の下には日足・一目均衡表の基準線159.03円もあり、下落局面ではこれらがサポートになると見る。

レジスタンス1	160.46(3/30 高値)
前日終値	159.71
サポート1	159.03(日足一目均衡表・基準線)
サポート2	158.72(日足一目均衡表・転換線)

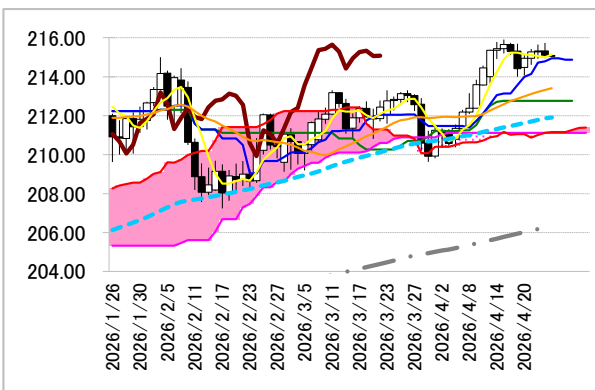


### <ユーロドル＝三羽鳥出現で下値模索の展開か>

陰線引け。1.17ドル台前半での上値の重さを確認すると、1.1669ドルまで下押しして21日線に迫った。

3日連続の陰線で、下落示唆の三羽鳥が出現している。本日1.1662ドルに位置する21日線を割り込むようだ、日足・一目均衡表の雲下限1.1594ドルを試す展開が予想される。仮に90日線1.1708ドルを回復したとしても、雲上限が引き続き上値を押さえそうだ。

レジスタンス1	1.1746(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1683
サポート1	1.1594(日足一目均衡表・雲の下限)

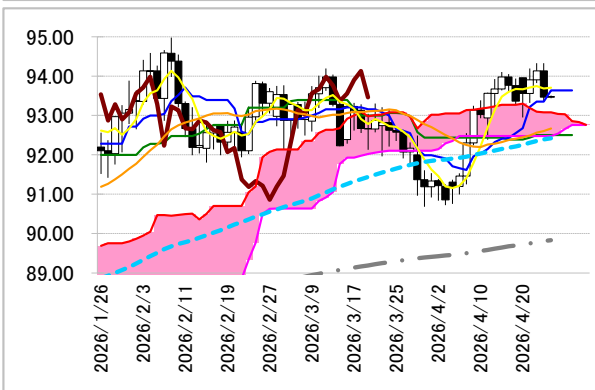


### <ポンド円＝転換線を巡る攻防に注目>

陰線引け。215.74円まで上昇するも216円を前に上値の重さを確認すると、一時214.95円まで下落して日足・一目均衡表の転換線に迫った。

本日転換線は214.96円にせり上がっており、割り込むようならば216円での頭の重さと合わせて調整局面入りの可能性が出てくると見る。その場合、17日安値214.01円割れを試す動きもあるだろう。

レジスタンス1	215.91(4/15 高値)
前日終値	215.07
サポート1	214.01(4/17 安値)



### <NZドル円＝雲を意識した展開となるか>

陰線引け。昨日は約2カ月ぶり高値となる94.33円を見た後は一転して軟調な展開となった。

本日は93.64円に位置する日足・一目均衡表の転換線を割り込んで始まっており、抵抗として意識されるようだ調整含みの動きが強まると共に、まずは雲(下限:92.47円、上限:93.08円)のサポート力を試す動きが予想される。

レジスタンス1	94.08(ピボット・レジスタンス1)
前日終値	93.46
サポート1	93.08(日足一目均衡表・雲の上限)

